

2026年3月1日 四旬節第二主日礼拝説教
「救いの流れに身を任せよ」（ヨハネ3章1～17節）

○創世記12章1節のみことば

「あなたは…父の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。」

*アブラムは、どのような旅になるか分からなかったが…

☆みことばがあれば、必ず道は開かれると信じた。

「アブラムは、主の言葉に従って旅立った。」（4節）

※神は、アブラムをとおして、ご自身の民を栄えさせた。

○ヨハネ3章3節のみことば

「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

*あなたも、新たに生まれなければ・・・

⇒みことばを悟れないまま、救いのうちから外れてしまう。

○今日のみことば：ヨハネ3章5節

「だれでも水と^{みず}霊^{れい}とによって生まれなければ、神の^う国^{かみ}に入^{くに}る^{はい}ことはできない。」

問：神が、水と霊とによって働かれるものとは？

「(すべての民に)父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、」(マタイ28章19節)

※洗礼により、あなたも神の命と聖名のうちに入れられた。

★絶えず、神が「あなたは、わたしの子」と呼びかける。

○ヨハネ3章16節のみことば

「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るため」

問：だれが、洗礼をとおして開かれた神の恵みに生きるのか。

※十字架の赦しに依り頼み、キリストのゆえに与えられた救いと憐れみの道を、聖霊の導きによって歩んで行く者。